

# ホタテガイ採苗速報

## 西湾で生殖巣重量が軽く、産卵数が少なくなる可能性 全湾でへい死率、異常貝率が高い状況

令和5年2月1～7日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月2日、3日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月7日に湾内6地点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

### 1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で21.0、東湾平均で23.6とそれぞれ前回の17.6、20.8より高い状況(図1、2)です。各地の測定結果は表1(裏面)のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は20.1と前回17.5より高い状況です(図3)。各地の測定結果は表2(裏面)のとおりです。

### 2 海況

15m層の2月第1半旬平均水温は、平館ブイと東湾ブイでは平年並み、青森ブイでやや低い状況となっています。

### 3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバは、西湾平均で9個/m<sup>3</sup>、東湾平均で42個/m<sup>3</sup>出現しました(図4)。ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、全湾平均でそれぞれ38個/m<sup>3</sup>、492個/m<sup>3</sup>出現しました(図5、6)。

### 4 今後の見込み

生殖巣指数が平年のほぼ最大値に達しており、ラーバも少数ながら出現し始めました。このことから生殖巣は産卵可能な状態と見られます。今後、水温の昇温刺激があると大規模産卵が始まる可能性があります。

養殖2年貝は西湾では殻長が平年よりもやや小さく、軟体部重量もやや軽い状況です。それに伴い生殖巣重量も軽い状況であることから、親貝1枚あたりの産卵数が平年より少なくなる可能性があります。

また、西湾、東湾ともにへい死率、異常貝率が高い海域が見られ、今後もへい死が起きることが危惧されます。産卵までに大規模なへい死が起きると、親貝不足が進みます。

なお、秋季養殖ホタテガイ実態調査時の親貝数は1億165万枚で、産卵不調やラーバの成育が良くない環境でも安定した付着数を見込める親貝数の目安(1億4,000万枚)に達していません。全湾で親貝数が少ない上に、西湾では1枚あたりの生殖巣重量が軽いことから、ラーバ数が少なくなる可能性があります。

産卵が不調となった場合に備えて採苗器の数を増やすことや中身の流し網を2つに増やすなどの準備をしてください。産卵状況およびラーバ出現状況については今後の情報を参考にしてください。

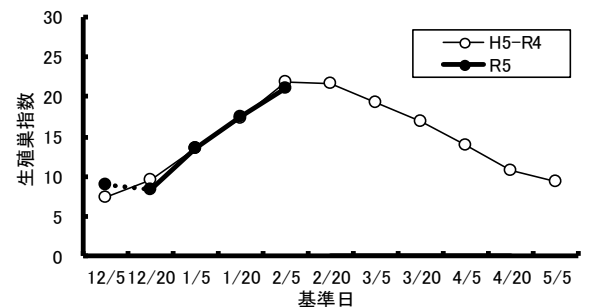


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

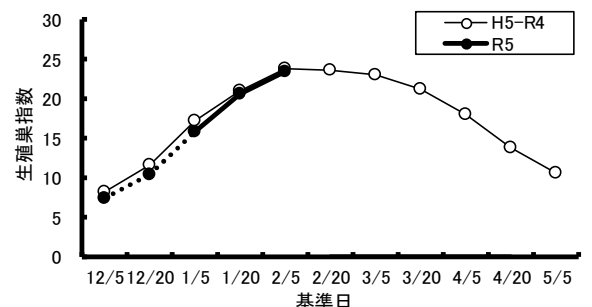


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

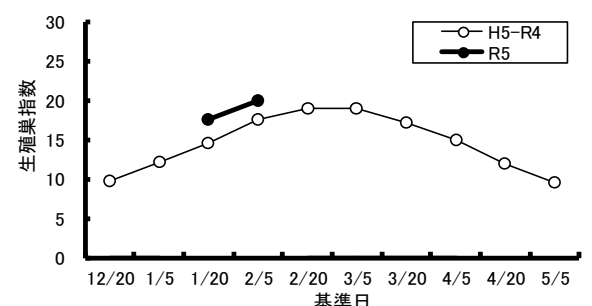


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※調査地点が1地点の場合は破線。



①



②

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	へい死率 (%)	異常貝率 (%)
蓬田村	2月7日	8.9 (10.4)	73.4 (118.1)	32.7 (47.5)	44.3 (40.2)	6.8 (10.2)	20.4 (21.0) [17.2]	13.2	16.7 (11.2) 【0.0】
青森市奥内	2月4日	9.4 (10.4)	96.5 (123.4)	38.3 (44.8)	39.7 (36.2)	8.6 (10.4)	22.0 (22.8) [18.2]	37.1	23.3 (8.2) 【16.7】
久栗坂実験漁場	2月7日	10.6 (11.1)	128.3 (154.3)	60.8 (65.2)	47.5 (42.2)	13.8 (15.4)	22.6 (23.3) [18.8]	5.3	10.0 (9.2) 【3.3】
平内町浦田	2月6日	9.7 (10.0)	92.9 (112.5)	39.2 (46.7)	42.1 (41.3)	7.6 (9.6)	19.0 (20.1) [16.0]	25.6	3.3 (6.6) 【0.0】
西湾平均		9.6 (10.5)	97.8 (129.1)	42.8 (51.8)	43.4 (39.9)	9.2 (11.7)	21.0 (21.9) [17.6]	20.3	13.3 (8.8)
野辺地町	2月1日	10.7 (10.7)	134.6 (146.4)	63.7 (64.8)	47.3 (44.2)	15.6 (17.0)	24.6 (26.1) [22.1]	32.4	10.0 (1.8) 【0.0】
むつ市	2月6日	10.1 (9.2)	119.6 (101.7)	57.4 (46.0)	47.9 (45.2)	14.9 (10.8)	26.1 (25.7) -	34.8	26.7 (7.0) 【0.0】
川内町	2月6日	9.5 (9.9)	90.2 (111.8)	39.2 (50.5)	43.2 (45.2)	6.8 (11.5)	16.9 (22.4) [16.9]	9.8	0.0 (6.0) 【0.0】
川内実験漁場	2月7日	10.6 (10.5)	141.7 (130.0)	70.4 (59.2)	49.6 (45.5)	18.9 (14.3)	26.7 (23.9) [23.3]	6.1	33.3 (3.3) 【0.0】
東湾平均		10.2 (10.1)	121.5 (123.3)	57.7 (55.3)	47.0 (44.9)	14.1 (13.5)	23.6 (23.9) [20.8]	20.8	17.5 (4.6)
全湾平均		9.9 (10.3)	109.7 (126.1)	50.2 (53.5)	45.2 (42.4)	11.6 (12.6)	22.3 (22.9) [18.9]	20.5	15.4 (6.8)

[ ]: 前回の値 ( ): H5-R4の平均値  
 【】: イソギンチャクおよびサンカクフジツボによる異常貝率

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	2月2日	10.1 (10.7)	113.4 (136.1)	53.8 (59.4)	47.9 (43.7)	10.6 (11.2)	20.0 (18.5) [18.6]	40.0 (1.4)
川内町	2月3日	9.1 (10.4)	119.5 (126.3)	47.6 (52.3)	40.1 (41.2)	9.6 (9.4)	20.1 (17.4) -	10.0 (2.7)
東湾平均		9.6 (10.4)	116.5 (127.3)	50.7 (54.1)	44.0 (42.3)	10.1 (9.9)	20.1 (17.6) [17.5]	25.0 (2.0)

[ ]: 前回の値 ( ): H5-R4の平均値

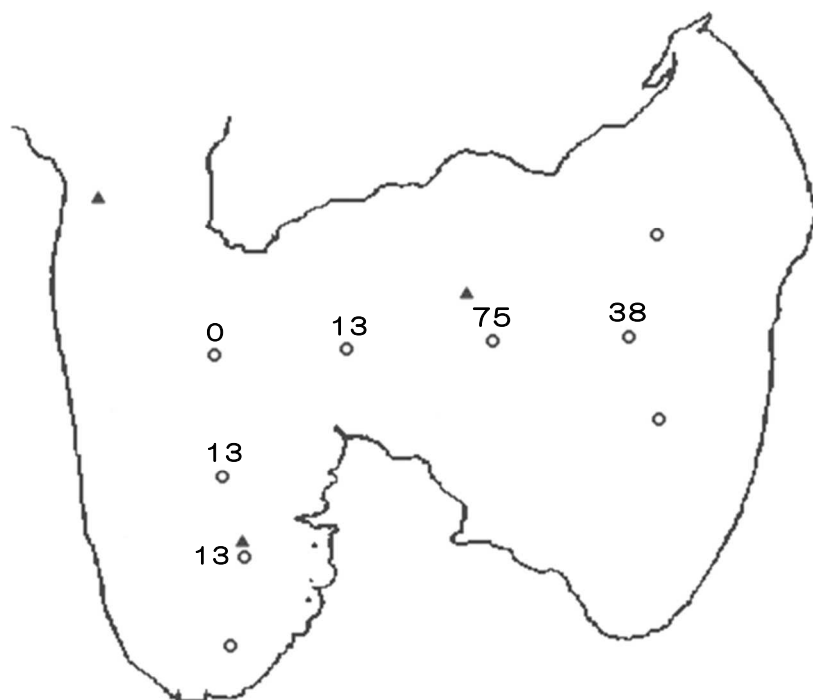


図4 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)

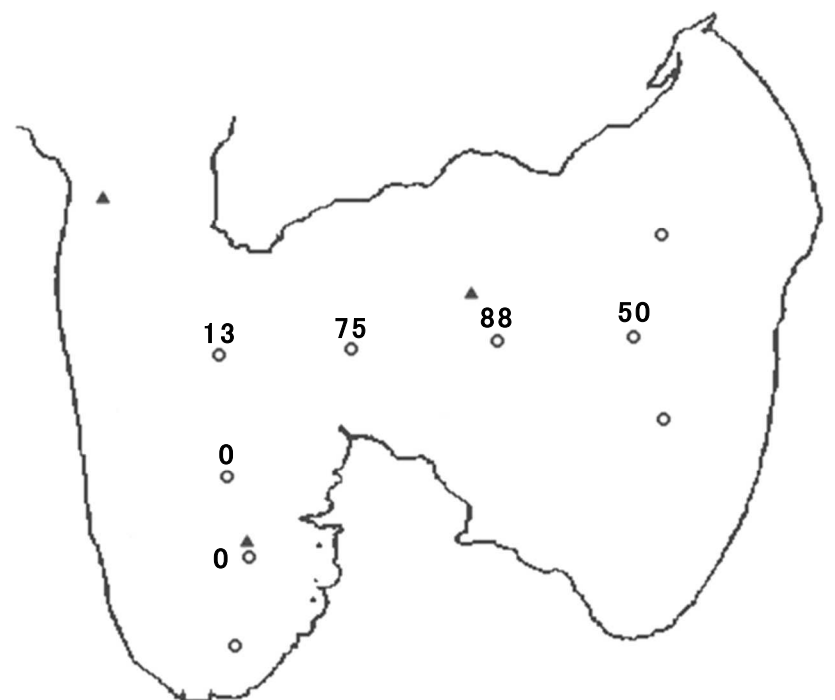


図5 調査地点別におけるムラサキガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)

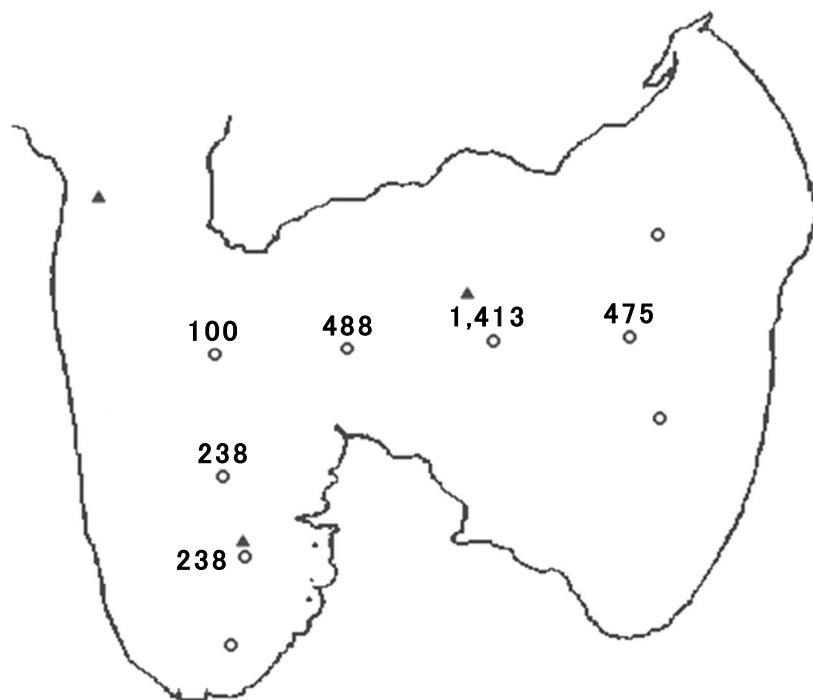


図6 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)